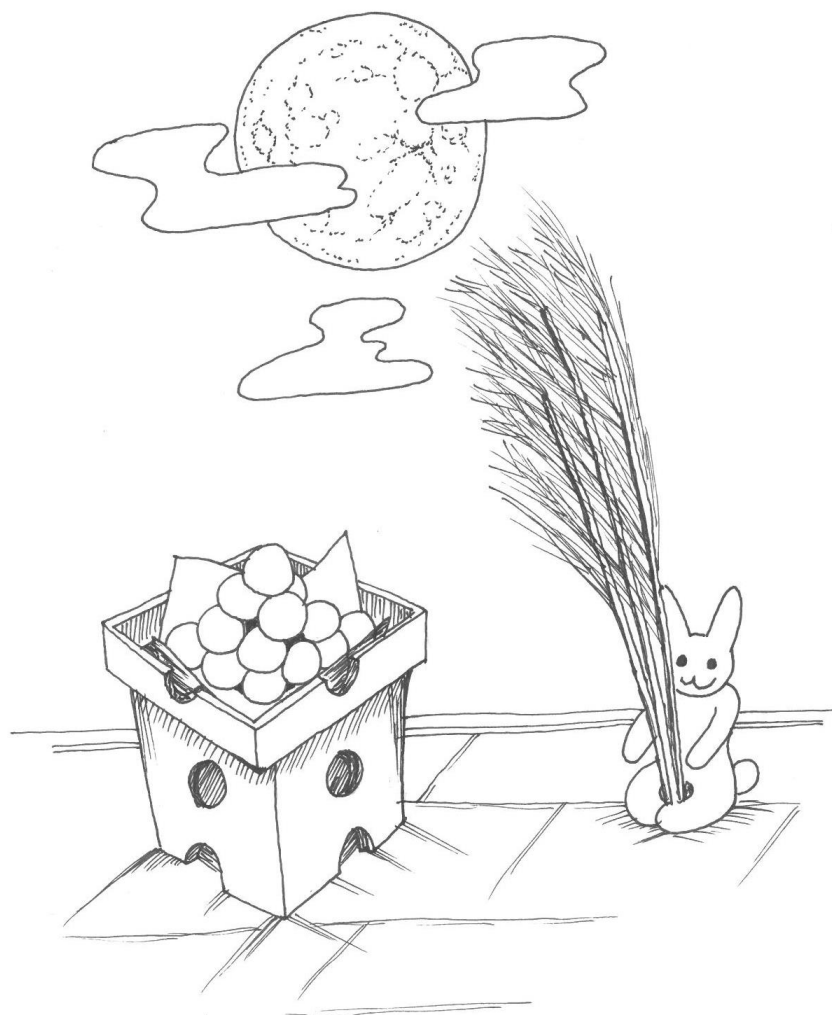


SSKO

社会福祉法人 はらからの家福祉会

われら同胞

NO.53



☆☆☆ 目次 ☆☆☆

- 2 p 節目です…、糸賀一雄さん没後 50 年、呉修三さん「報告書」から 100 年
- 3 p 貸借対照表
- 4 p 決算報告
- 5 p さつき共同作業所
- 6 p 賛助会コーナー

節目です…、糸賀一雄さん没後50年、呉修三さん「報告書」から100年

はらからの家福祉会 理事／総合施設長 伊澤雄一

とある国会議員の発した言説を機に、報道でも盛んに取り上げられている「生産性と人としての価値」。これは生産性という価値の限定化により命の重みを測るといふ、憲法の基本的な人権を踏みにじる恐るべき思想だと思えます。

2年前に、相模原で発生した戦後最大の大量殺戮事件である「やまゆり園事件」の犯人が耽溺した「優生思想」にも通底しており、また今般、障害を理由に断種を目的とした「優生手術」の経緯が、戦後のダークサイドとしてあらわになり、国家賠償訴訟に進展してきている事実なども含め、このところ「命の価値に関する負の指向」を社会風潮のなかに感じます。

今年、わが国障害者福祉の父と呼ばれる糸賀一雄さんが亡くなってから50年の節目の年です。障害児福祉の父ともいわれる糸賀さんは1938年、終戦後の混乱期に知的障害児施設「近江学園」を創設し、その後、重症心身障害児施設「びわこ学園」など多くの施設を創設していきました。知的障害児の福祉・教育の先駆者として、その実践と研究を精力的に行い、20世紀の福祉実践家として著名な人物でした。

“この子らを世の光に”は糸賀さんの代名詞ともなっている有名な詞です。この子ら「に」ではなくこの子ら「を」なのです。以下は代表的な著作『福祉の思想』からです…。

『重度や重症の子どもたちも、ひとりひとりかけがえ

のない生命をもっている存在であつて、この子の生命はほんとうに大切なものだ。「人間」という抽象的な概念でなく、「この子」という生きた生命、個性のあるこの子の生きる姿のなかに共感や共鳴を感ずるようになるのである。(中略)ただ無為に生きていくのではなく、生き抜こうとする必死の意欲をもち、自分なりの精いっぱい努力を注いで生活しているという事実を知るに及んで、私たちは、いままでその子の生活の奥底を見ることができなかった自分たちを恥ずかしく思うのであつた。この事実を見ることのできなかつた私たちの眼が重症であつたのである。

脳性小児麻痺で寝たままの十五歳の男の子が、日に何回もおしめをとりかえてもらうおしめ交換のときに、その子が全力をふりしぼって、腰を少しでも浮かそうとしている努力が、保母の手につたわつた。保母はハツとして、瞬間、改めて自分の仕事の重大さに気づかされたという。

この子らはどんなに重い障害をもつていても、だれととりかえることもできない個性的な自己実現をしているのである。人間とうまれて、その人なりの人間となつていくのである。その自己実現こそが創造であり、生産である。私たちのねがいは、重症な障害をもつたこの子たちも、立派な生産者であるということ、認めあえる社会をつくらうというこ

とである。「この子らに世の光を」あててやろうというあわれみの政策を求めているのではなく、この子らが自ら輝く、いよいよみがきをかけて輝かそうなのである。「この子らを世の光に」である。』…もはや解説は不要ですね…。

また今年、呉修三医師が1938年に“(精神障害者)は病を負つたことに加え、この国に生まれた不幸を合わせもつ”と言い放つた、私宅監置(※)の実態報告を発表してから100年に当たります。100年経過した今日においても、世界一の32万人を収容できる構造物(精神科病院)を備え、多くの長期入院者を抱えたわが国く先般の新聞報道では、九州に、大正12年(関東大震災があつた年です…)から95年の入院の方がいらつしやるとのことでした。く、100年の経過を持ちながらも、依然として長期入院という人権侵害が続いている事実には、一刻も早くこの状況を変えるための、さらなるアクションの必要を思いうととも、こうした先達の思想や功績を拝むのではなく、引き寄せ、実践の軸とすべしと、強く感じる今日この頃です。

(※) 私宅監置…明治時代、多くの精神障害者は、監禁を許していた「精神病者観護法」のもとに私宅に監置(座敷牢に収監)されてきました。

6月7日開催された理事会及び6月28日開催された定時評議員会において、平成29年度決算が承認されました法人全体の決算書(財務3表)をお知らせ致します。
同日共に丹野監事から監査報告があり、承認されております。

貸借対照表

平成30年3月31日 現在

社会福祉法人 はらからの家福祉会

単位:円

勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
資産の部				負債の部			
流動資産	113,186,089	99,697,232	13,488,857	流動負債	10,012,321	9,528,178	484,143
現金預金	85,372,102	71,672,972	13,699,130	事業未払金	248,164	285,920	△ 37,756
事業未収金	23,832,209	23,936,244	△ 104,035	1年以内返済予定 設備資金借入金	1,200,000	2,140,000	△ 940,000
未収金	0	0	0	未払費用	1,670,982	767,325	903,657
未収補助金	3,296,000	3,407,872	△ 111,872	職員預り金	756,778	0	756,778
前払費用	685,778	680,144	5,634	賞与引当金	6,136,397	6,334,933	△ 198,536
固定資産	164,331,634	160,797,461	3,534,173	固定負債	13,822,092	14,326,860	△ 504,768
基本財産	115,057,331	116,773,845	△ 1,716,514	設備資金借入金	300,000	1,200,000	△ 900,000
土地	60,312,050	60,312,050	0	退職給付引当金	11,020,380	10,186,860	833,520
建物	54,745,281	56,461,795	△ 1,716,514	長期預り金	2,501,712	2,940,000	△ 438,288
その他の固定資産	49,274,303	44,023,616	5,250,687	負債の部合計	23,834,413	23,855,038	△ 20,625
建物	3,690,130	4,033,240	△ 343,110	純資産の部			
構築物	1	1	0	基本金	40,440,959	40,290,959	150,000
機械及び装置	0	0	0	国庫補助金等特別積立金	74,159,783	73,724,895	434,888
車両運搬具	973,016	1,351,418	△ 378,402	その他の積立金	24,450,000	18,450,000	6,000,000
器具及び備品	2,628,471	2,943,613	△ 315,142	工賃変動積立金	300,000	300,000	0
権利	8,000	8,000	0	設備等整備積立金	150,000	150,000	0
退職給付引当資産	11,020,380	10,186,860	833,520	施設・設備整備費等積立資産	24,000,000	18,000,000	6,000,000
長期預り金積立資産	2,501,712	2,940,000	△ 438,288	次期繰越活動増減差額	114,632,568	104,173,801	10,458,767
工賃変動積立資産	300,000	300,000	0	(うち当期活動増減差額)	(16,458,767)	(16,081,774)	(376,993)
設備等整備積立資産	150,000	150,000	0				
施設・設備整備費等積立資産	24,000,000	18,000,000	6,000,000				
差入保証金	3,980,023	3,980,023	0				
長期前払費用	12,570	120,461	△ 107,891				
その他の固定資産	10,000	10,000	0	純資産の部合計	253,683,310	236,639,655	17,043,655
資産の部合計	277,517,723	260,494,693	17,023,030	負債及び純資産の部合計	277,517,723	260,494,693	17,023,030

社会福祉法人 はらからの家福祉会

平成29年度決算報告

(自)平成29年4月1日 (至)平成30年3月31日

単位:円

資金収支計算書			
勘定科目		法人合計	
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	5,245,630
		障害福祉サービス事業収入	170,524,976
		借入金利息補助金収入	72,706
		経常経費寄附金収入	679,035
		受取利息配当金収入	1,369
		その他の収入	5,188,650
		事業活動収入計(1)	181,712,366
	支出	人件費支出	115,122,922
		事業費支出	4,895,196
		事務費支出	37,642,203
		就労支援事業支出	5,129,151
		支払利息支出	72,706
		その他の支出	0
		事業活動支出計(2)	162,862,178
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		18,850,188	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	1,990,000
		施設整備等寄附金収入	150,000
		固定資産売却収入	0
		その他の施設整備等による収入	0
	施設整備等収入計(4)		2,140,000
	支出	設備資金借入金元金償還支出	1,840,000
		固定資産取得支出	442,800
その他の施設整備等による支出		0	
施設整備等支出計(5)		2,282,800	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 142,800	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	2,120,788
		拠点区分間繰入金収入	5,588,000
		その他の活動による収入	1,260,000
		その他の活動収入計(7)	
	支出	積立資産支出	8,560,190
		拠点区分間繰入金支出	5,588,000
		その他の活動による支出	1,698,288
その他の活動支出計(8)		15,846,478	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△ 6,877,690	
予備費支出(10)		0	
当期資金収支差額合計(11=3+6+9-10)		11,829,698	
前期末支払資金残高(12)		98,533,056	
当期末支払資金残高(11)+(12)		110,362,754	

事業活動収支計算書			
勘定科目		法人合計	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	5,245,630
		障害福祉サービス事業収益	170,524,976
		経常経費寄附金収益	679,035
		その他の収益	4,911,538
		サービス活動収益計(1)	181,361,179
	費用	人件費	115,802,076
		事業費	4,895,196
		事務費	37,713,614
		就労支援事業費用	5,815,945
		減価償却費	2,509,173
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 1,555,112
	サービス活動費用計(2)		165,180,892
	サービス活動増減差額(3=1-2)		16,180,287
	サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益
受取利息配当金収益			1,369
その他のサービス活動外収益			277,112
サービス活動外収益計(4)		351,187	
費用	支払利息	72,706	
	その他のサービス活動外費用	0	
サービス活動外費用計(5)		72,706	
サービス活動外増減差額(6=4-5)		278,481	
経常増減差額(7=3+6)		16,458,768	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	1,990,000
		施設整備等寄附金収益	150,000
		固定資産売却益	0
		特別収益計(8)	2,140,000
	費用	基本金組入額	150,000
		固定資産売却損・処分損	1
		国庫補助金等特別積立金取崩額	0
		国庫補助金等特別積立額	1,990,000
		その他の特別損失	0
		特別費用計(9)	2,140,001
特別増減差額(10=8-9)		△ 1	
当期活動増減差額(11=7+10)		16,458,767	
前期繰越活動増減差額(12)		104,173,801	
当期末繰越活動増減差額(13=11+12)		120,632,568	
その他の積立金積立額(14)		6,000,000	
次期繰越活動増減差額(15=13-14)		114,632,568	

*紙面上、当期合計のみ表示

*紙面上、当期合計のみ表示

今年も盛りだくさんとなっています！

毎年恒例の東元町商店会の皆さん、AnnBeeの皆さんと埼玉方面への旅行や、大分県で開催された障害者アートの祭典、さつき製品が国分寺にゆかりのある商品として商工会に認定される等、盛りだくさんとなっております！



さつき旅行 in 秩父

今年は秩父へ旅行に行きました。餅つきや蕎麦打ち体験、いちご狩り、神社参拝など盛りだくさんな一日でした♪



商工会

さつきのホッチ・丸瓦商品が国分寺にゆかりのある商品「ぶんじ器シリーズ」として認定されました。市内の名物名産パンフレットに掲載予定です。



障害者アートの祭典 in 大分県

全国障害者作品展 9/29～10/8 にメンバーの短歌 (+挿絵)、丸瓦のペアカップ (BUNJI CUP) が出品されました。丸瓦が全国に広まっちゃうかも♪



ふるさと納税返礼品

ふるさと納税返礼品の受注&発送が始まりました。

はらからの家福社会賛助会コーナー

はらからの家福社会賛助会は、社会福祉法人はらからの家福社会の運営の維持・発展のために支援・協力することを目的として、主に財政的支援・協力の活動を行っています。

当会の趣旨にご賛同いただける方の入会をお待ちしております。会費は年間1口2千円からで何口でも可能です。会員の皆様には「われら同胞(本誌)」を送付しているほか、年に一度懇談会を開催し、会計報告・活動報告を行っています。皆様の会費は毎年取りまとめてはらからの家福社会に寄付させていただいております。

入会を希望される方は、下記口座に会費をお振込ください(同封の振込用紙も使えます。)

郵便振替口座番号
00180-8-130179
加入者名：はらからの家福社会賛助会

会費を納入いただいた方の名前を本誌に掲載させていただいております。

匿名希望の方はその旨通信欄にお書きください。

<平成30年度4月から7月の間に賛助会費をご納入頂いた皆様(順不同 敬称略)>

荒井 東治 池谷 敏子 稲毛 正昭 井上 洋子 上柳 喜一 奥澤 佳子 桂田 稔彦 熊谷 寿子
熊谷 禮子 小松 友恵 小峯 尚三 小宮 敬子 坂田 晴弘 佐藤 佳子 杉山 健治 須長 三郎
高見 法孝 田中 康義 萩原 久丸 服部 洋三 浜野 徹二 春口 明朗 峯岸 桂一 宮城 伸子
森野 米子 山岸 琴美 河崎 幸太郎 末盛 三枝子 中田 有智子 野々瀬 悟子 服部 百合子
藤野 利太郎 藤田 綾 オザキエンタープライズ(株)(有) 興洋エステート タツミ建設(株)
東京ヤクルト販売(株) 瑞穂事業所 にしの木クリニック 日本聖公会 立川聖パトリック教会

匿名7名

第32回精神保健福祉講座

日 時 平成30年11月18日(日)
会 場 本多公民館2階ホール
参 加 費 500円
テ ー マ 精神保健福祉の黎明期～日本の精神保健福祉は本当に「夜明け前」なのか!?～
内容紹介 今年、“日本精神科医学の父”と呼ばれる呉秀三が、私宅監置された精神疾患の方々の実情を憂い、まとめた報告書刊行100周年の年にあたります。それを記念してきょうされんが作成された映画「夜明け前」上映とその企画者である藤井克徳氏の講演を開催し、精神保健福祉・医療の今日的な課題へと向かい、誰もが差別なく暮らせる地域づくりにつなげる機会とします。
※申込制の為、はらからの家福社会ホームページ「お知らせ」よりチラシをダウンロードして頂き、FAXにてお申込み下さい。

はらからの家福社会賛助会

懇談会開催のお知らせ

日 時 平成30年11月8日(木)
午後5時～6時半
会 場 ピア国分寺 204
国分寺市南町3-4-4

はらからの家福社会賛助会

代表 朝倉 さく

【編集人】社会福祉法人はらからの家福社会

〒185-0021 東京都国分寺市南町3-4-4 TEL 042-323-5637

【発行人】障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3-1-17-102

【定 価】¥120

<編集後記>

寒暖差はあるものの過ごしやすい気候になり、深緑であった木々も所々紅葉し始め、季節の移ろいを感じますね。

編集委員一同